

第197回一関市教育委員会定例会 会議録

1 開催日時

開会 令和元年9月25日（木）午後1時30分

閉会 令和元年9月25日（木）午後3時12分

2 会議の場所

一関市立東山小学校仮設校舎

3 出席者

教育長 小菅正晴

委員 千葉和夫

委員 小野寺眞澄

委員 佐藤一伯

委員 伊藤一志

4 会議に出席した関係者及び職員

教育部長	千葉敏紀
一関図書館長	千葉秀一
教育部次長兼学校教育課長	瀧野澤 徹
教育部次長兼文化財課長兼骨寺荘園室長	千葉 浩
教育総務課長	中田善久
いきがいつくり課長	伊東吉光
教育総務課長補佐兼庶務係長	千葉由紀（記録）

5 報告

- (1) 行事報告及び10月行事予定について

6 その他

- (1) 令和元年度学校教育行政の重点について（復興教育・危機管理）
- (2) 学力向上施策について
- (3) その他

8 会議の議事

○教育長 定足数に達しておりますので、ただいまから第197回教育委員会定例会を開会いたします。

今日の議題はあまり多くはありませんので、3時前に終わると思います。

そのあと、この仮設の校舎見学、それから現在長寿命化改修事業で新しい校舎を隣に造っていますので、そちらのほうも見学して終わりたいと思います。

それでは、2番の報告に入ります。

報告(1) 行事報告及び10月行事予定について

○教育長 (1)、行事報告及び10月行事予定についてご覧ください。

私からは行事報告をいたします。

それでは1ページ目ではありますが、前回は8月20日が教育委員会定例会でしたので、それ以降今日までの行事報告をいたします。

8月23日、第14回一関地方中学校総合体育大会駅伝競走大会がありました。

市の総合体育館からスタートして堤防のあたりを走ると、そういう駅伝でありましたが、市内の学校、それから附属中、平泉中等参加いたしまして、行ったところであります。

男子のほうは平泉中が第1位、第2位が附属中、第3位が厳美中、女子は第1位が桜町中、第2位が千厩中、第3位が一関東中ということの順位でありました。

夏にしては暑さもあまりなく、適度な気温の中で行うことができたということです。

同じく23日、世界拡張登録に係る提案書の提出ということで、県庁に奥州市の教育長、平泉町の教育長、それから私の3人で、世界遺産拡張登録にかかわる部分について意見を、お話しをしましてまいりました。

平成30年の2月に、もう少し延ばしてこの拡張登録についての取り組みを行うということで県と2市1町で合意したところではありますが、その後どういう形でどのぐらいの期間で進めるかということについては、具体的な部分については、不明なまま今取り組みを進めているところでありました。

特にも期限という部分については、ある程度めどを持ってやっていかなければいけないのではないかという話し合いの中から、2市1町の教育長でもって県の文化振興部の総括課長に提案書を提出してきたところでありました。

具体的に言いますと、1つはこの拡張登録の取り組みにかかわっては、最終的には専門家、東京で時々専門会議を行っておりますが、この専門家の意見に基づいて主題と構成資産については決定していくという内容が一つです。

3つほど出しました。

2つ目は、仮にそういう話し合いの中で、専門家の意見の中で、構成資産について絞り込まざるを得ない場合には、絞り込むことについてもやむを得ないという意見を出してまいりました。

具体的に言いますと、平泉町は柳之御所、達谷窟、それから奥州市は白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡、それから一関については骨寺村荘園遺跡と、この5つが構成資産の候補として、できればこの5つとも拡張登録の推薦書の中に盛り込みたいということで、2市1町で進めてきたところではありますが、なかなかあの専門家の意見は難しい部分もありそうだというそういう気配になっております。

そういう中で、絞り込むのもやむを得ないだろうというふうなこちらの意見としても出してきたところです。

3つ目として、平成30年2月に延ばすことを決定しましたが、それ以降の取り組みについては、平成30年度から5年間、具体的に言うと令和4年度までの5年間の中の取り組みで一つの結論を出したいという意見を出してきました。

以後、その部分については、構成資産になれば推薦書に盛り込まれますから、そのあとの取り組みも続くのですが、もし盛り込まれない場合には、その部分でもって一旦この取り組みについては、一つの区切にするというような考え方を2市1町の教育長のところではある程度共有したところでもあります。

これについては、市長のほうにも、状況については報告しておりまして、無制限で延ばすものではないと、おおむね5年をめどにとということでもって進めようということの話がされてきたところでもあります。

そういった大きく3つの意見を県にしたところでもあります。

第22週、8月27、市議会がスタートしております。

現在も続いております。

明日が最終日となっております。

9月1日、一関文化祭第70回記念開幕フェスティバルが文化センターでありました。

これは市全体ではなく、一関地域の文化協会が主催するもので、文化祭が旧一関市の時代から70回続いてきているということの記念の開幕フェスティバルで、私も出席して挨拶を述べたものであります。

第23週はそのとおりであります。

次、2ページに行きます。

9月9日、中学生最先端科学体験研修解団式が川崎市民センターでありました。

8月の5日から7日まで、市内等の中学3年生65名が2泊3日につくば市のほうに最先端科学の研修に行つてまいりました。

9月9日のこの日は最終的に班別のレポートを交流し合ったり、それから、報告をそれぞれの班長からいただいたところでありました。

そのあと解団式を行いました。

子どもたちについては大きな成果があったということの報告をもらいましたし、お互いに打ち解けた雰囲気の中で子どもたちの成長が見られたところです。

同じ週、9月12日、芦東山記念館調査研究事業の成果と今後の展望に関する懇談会ということで、これについては、市長のほうに現在、委託事業で研究を行っております早稲田大学の稲畑先生のこの2年間の研究の成果についての市長への報告をいただいたところでもあります。

稲畑先生の研究については、平成26年から4年間で第1期目、平成30年から今年度は第2期目ということで、研究を6年間にわたり進めてきていただきました。

この中でも、やはりいろんな芦東山に関することが大分知られるようになってきました。

そういう中で、潮出版のほうから「芦東山」というタイトルで連載物が取り上げられております。

これも非常に盛り上がるの一つかなと思います。

次年度以降も何らかの形で研究にご協力いただく方向をここで確認したところでもあります。

稲畑先生は今がこの芦東山の業績を広めるうえで良い機会だということを繰り返し述べたところでもあります。

次の週、第25週、9月17・18日、これはあとで話しますが、学力向上にかかわって陰山英男先生を夏の講演会にお呼びしたところですが、そのことに関係して、陰山先生のお力を今後、学力向上について市の教育委員会としてもお願いしたいということで、私が京都のほうに行ってまいりました。

陰山ラボという会社を立ち上げておりますが、そこでいろんな話をしてきたところでもあります。

9月19日、総合訪問が舞川小学校で、今年度初めてですがありました。

ありがとうございました。

9月21日、第38回一関国際ハーフマラソン大会の開催式・レセプションがありまして、22日にはハーフマラソンの大会が行われたところでもあります。

これは、5キロ、10キロ、ハーフ約20キロですが、3つの種目でもって行われたものであります。

参加者が3,581名で、過去最高の参加人数になったところでもあります。

第26週、本日教育委員会定例会を迎えたところであります。

行事報告については以上です。

○教育長 何かご質問はございますか。

よろしいですか。

それでは、10月行事予定につきまして、教育総務課長お願いします。

○教育総務課長 それでは、本日以降10月の行事予定について報告いたします。

(説明)

○教育長 それでは、最初に、来月の教育委員会定例会の日程を確認したいと思いますが、10月25日、金曜日、午後1時半からということですが、これについていかがでしょうか。

(「大丈夫です」の声あり)

○教育長 それでは、10月25日、金曜日、午後1時半からよろしく願いいたします。

それでは、行事報告及び10月の行事予定については以上としたいと思います。

3番のその他に入ります。

その他(1) 令和元年度学校教育行政の重点について（復興教育・危機管理）

○教育長 その他(1)、令和元年度学校教育行政の重点につきましては、復興教育・危機管理について説明をお願いします。

学校教育課長。

○学校教育課長 それでは、A3判の資料をご覧ください。

(説明)

○教育長 これについて、皆さんから何かご質問等ありましたらお願いします。

はい、千葉委員。

○千葉委員 復興教育を取り入れた教育課程の編成のところで、教育的価値一覧表で21項目あると、その中の「かかわる」という部分の8から14は具体的にはどんな内容があるのでしょうか。

○学校教育課長 それでは、その「かかわる」の8から14のところをちょっと読み上げたいと思います。

8番として、家族のきずなです。

9番は、仲間とのつながり。

10番は、地域とのつながり。

11番は、ボランティア救援活動。

12番は、自分と地域社会。

13番は、復旧復興のあゆみ。

14番が、災害に備える地域づくり。

こういった視点で取り組んでいるところでございます。

○千葉委員 はい、ありがとうございました。

○教育長 そのほかありますか。

はい、佐藤委員。

○佐藤委員 「いわての復興教育の取組」で、川崎中学校と川崎小学校が「いわての復興教育スクール、内陸」の実践校として指定を受けているということですが、どのような今年度は活動をしてらっしゃるか教えてください。

○学校教育課長 まずは川崎中学校や川崎小学校は、洪水の歴史があるところでもございます。

これまでもそういった防災に関しては、調べを進めているところでございますが、今年度は、その計画を見ますと、防災講話の時間を設けたり、防災マップづくりをしたり、地域ごとのフィールドワーク、危険箇所を点検したりということも含まれます。

防災学習発表会ということで、学習発表会の中に、防災の内容を入れるということが計画されているようでございます。

ほかに保育園と合同で防災訓練をしたり、そういった実績が入っているようでございます。

○教育長 よろしいでしょうか。

○佐藤委員 はい。

○教育長 そのほかはいかがでしょうか。

はい、伊藤委員。

○伊藤委員 私は復興教育と危機管理納付は全て児童生徒の意識だと思うんですね。

意識高揚、教職員の意識高揚、これが一番大切で、いくら良い取り組みで手当をしても子どもたちの本当に心に響いて、実際に子どもたち自身が意識したり、教職員が意識したりしないと、いくらこういう取り組みを唱ってもなかなか浸透しないような感じがします。

特に、今回そういう面から考えたときに、児童生徒そして教職員の意識高揚を図るときには、どの取り組みを特に重点的にというところはあるのでしょうか。

○学校教育課長 ご指摘のとおり、震災から8年の時間が経っておりますので、一部ではマンネリ化しないかというふうなご指摘はあるところでございます。

そして、どこを高揚させていくかについては、各学校によって事情は違うと思いますが、聞こえてくるところでは、教員が子どもたちの近くにいる場では避難できるけれども、実際は教員がいない場所であるとか、友達が周りにいない場所でどうやって子どもたちが

判断して逃げるかというところは、もう少し強化が必要なのではないかなというふうに考えております。

高揚べきところ、大きなところはそこではないかなというふうに考えております。

○伊藤委員 はい、ありがとうございます。

もう一ついいでしょうか。

わかりました。

すごくそのとおりだと思います。

ただその復興教育、危機管理に関しては、学校のみではなく、もうちょっと広げて、家庭を巻き込むような復興教育、危機管理というところは考えられないものでしょうか。

○学校教育課長 ご指摘のとおり、ご家庭の力がなるといふかご家庭も巻き込まないと、実際の地震が起きたときに、家にいてですとかそれがあろうかと思っておりますので、今後、そういうところにも声を掛けたり、具体的には、講話の場を設定したり、そういうことを各学校に話をしていきたいと思っております。

○教育長 よろしいでしょうか。

今回は復興教育、危機管理ということでお話をしました。

それでは、次に進みます。

その他(2) 学力向上施策について

○教育長 (2)、学力向上施策についてであります。ここは私のほうで説明をさせていただきます。

(説明)

○教育長 何かご質問はありますか。

はい、千葉委員。

○千葉委員 15分の時間を使うのですね。

○教育長 小学校は実は今ことば時間というものが10分間音読をやっております。

これはこのままやってもらい、そのほかに5分の時間を百ます計算用に、朝自習の時間とか朝の学習時間にとってもらうか、もしくはことばの時間を音読と組み合わせて、新たな時間をつくらなくとも、その中でやっていただくか、それは学校ごとに選択していただくかなと思っております。

中学校は計算については、新たに5分取ってもらおう考えであります。

なかなか学校もいろんな過密スケジュールで、新しい時間をつくってですね、かなり困難な状況にありまして、中学校の5分つくるのも今まで市全体でやっている時間もなかったものですから、これは新たに5分つくるということについて、抵抗がそれぞれあると

と思いますが、何とか5分はひねり出せるのではないかという、校長先生方の話だし、5分はお願いしたいなと思います。

○千葉委員 これは校長会にも諮っているということでしょうか。

○教育長 校長会の役員等には話はしております。

あとは個別に校長に話をしております。

まだ全部ではないですが、半数ぐらいには話しております。

○千葉委員 校長先生方の反応は。

○教育長 反応ですね、いやこういうのは必要だという校長さんと総論は賛成だけれど時間を取るの大丈夫かなどこれは課題だという話はしておりました。

なかなかその部分がつらいところですね。

はい、そのほか。

伊藤委員。

○伊藤委員 例えば本当に良い取り組みで期待できるなと思いますけれども、私が現職の時のことを考えると、もの凄く責任も感じているのですが、そういう体制、生徒、学校の体制でこういう取り組みは効果が出ているのではないかなと思うのですが、私のころはまず、学力向上以前に生徒指導に右往左往していたと、そういう雰囲気になかなか出来なかったと。

例えば現在、スマホが脳に与える影響が大きくて、ゲームもそうですが、そういう状況の中で、こういう体制でこういうことをさせるのを考えたときに、果たして効果というものが心配ですが、その辺はいかがでしょうか。

○教育長 まず一つは、ほかの地域を実際見てみると、集中力がもの凄く身について、子どもたちの心の安定につながっているという報告が結構寄せられています。

実は今、市内で一番課題になっているのは不登校なんです。

すごく増えているんです、ここ何年かで。

11月の総合教育会議でも、皆様と一緒に市長を交えて、そのテーマに不登校が取り上げられております。

非常に増えて、全国的にもそうですが、いろんな家庭の複雑さがもの凄くここ何年かで表面に出てきております。

その影響はすごくあると思うし、もう一つはやはり根底には学力不審があるのではないかという分析を研究者の方々はしております。

今回このような取り組みでもって、心の落ちつきと自分でもやればできるんだというそういう部分も生徒指導面にプラスになっていくんじゃないかなという、直接的な目的ではないんですが、間接的にはそういう期待もできるのかなと思っております。

○教育長 あといかがでしょうか。

はい、千葉委員。

○千葉委員 10年程前に、百ます計算というものが盛んに行われていて、どこの学校でやっていた、あるいは先生でやっていたという、その結果のデータみたいなものというものは何もないのですか。

○教育長 10年以上も前のはこちらもち合わせていないのですが、ただ、ほかの例えば、今、九州の飯塚市、福岡の近くですが、そのあたり取り組んでいるのはやはり上がってきております、いわゆる全国学調がですね。

そのほかに子どもたちの作業能力がものすごく向上するという報告もあります。

かなり成果は期待できるんじゃないかと思いますが、ただ陰山先生に直接聞くとですね、やはり全部が全部そういう成果が出ているわけではないのがあると。

それはやはり、やり方の問題がかなりあると、そういうやり方に馴染むように条件をきちんとやる、結構気合を入れてやらないとダメなんだろうなということでした。。

○千葉委員 ちょっと気になったのは、それだけいい方法であるにもかかわらず、最近やらなくなっているというのは、成果を感じられなくなったから、しなくなったのかなとおもったりもしたものですから。

○教育長 1番は、陰山先生が言うには、市内の先生方の話を聞いてもそうですが、学校単位と市単位でやったところはないんです。

全部個人なんです。

そうすると一定程度のところまでは成果が上がってくるのですが、それがどうしてもマンネリ化してしまっていて続かないんです。

そういった部分は、やはり難しさがあったのかなと。

だからある程度学校体制とか市体制でやっていかないと、続かないのかなという、その部分は課題なんじゃないかなと思っておりました。

これも始めて永遠に続けるわけではなく、一定程度、始めて数年間でもってやはりこれどうなのかという検証をして、あまり効果がなかったらやめる、そういう英断も必要だろうし、それから新たにこういう方法でまた次の展開も考えられるだろうし、まずは一生懸命みんなでやっという姿勢を持ってスタートしてみることは大事なのかなと思っております。

市単位でやっているところは、九州の飯塚、田川それから、去年視察で言った山形県の長井市でも取り入れております。

福島県の桑折町でも取り組んでいるようですから、私どもでも正確にはつかんでいないのですが、それほど多くないようです。

個人としてはたくさんございますが。

○千葉委員 はい、わかりました。

○教育長 それでは、DVDを観ていただいて、特に百ます等の雰囲気をつかんでいただきたいと思います。

(DVD視聴)

○教育長 何となくイメージはつかめたのではないかと思います。

百ます等で活用できる部分は活用していきたいということであります。

その他(3) その他

○教育長 (3)のその他について、事務局はいいですか。

皆さん方からはよろしいでしょうか。

○教育長 それでは、以上で第197回一関市教育委員会定例会を終了いたします。

ありがとうございました。